

## 集中治療患者における人工呼吸離脱に関連する因子の検討について

倫理審査委員会承認番号：22247(T1)

### 1. 研究の対象

2017年5月1日から2019年4月30日の間に、当院集中治療室に入室された方。集中治療室入室前または入室後に経口気管挿管され、ICU入室中に24時間以上の人工呼吸管理を行い、人工呼吸管理からの離脱・抜管を行った方。

そのうち、本邦で推奨されている標準的な手順で抜管を行った方（Pressure support ventilation (PEEP 5cmH<sub>2</sub>O, PS 5 cmH<sub>2</sub>O) での30分間の自発呼吸トライアルに成功した方）を対象とします。

### 2. 研究目的・方法

人工呼吸管理は、患者の生命を保つために必要不可欠な治療法です。全身状態および呼吸状態の改善が得られれば、人工呼吸からの離脱、つまり抜管が可能ですが、抜管の不成功は患者の予後を悪化させるため、適切な判断基準が必要です。当院集中治療室では当院を代表施設として、抜管不成功のリスク因子を検討し、抜管成功の予測モデルを作成することを目的とした多施設観察研究である「人工呼吸管理患者における抜管不成功の生理学的リスク因子の検討」を行っています。同研究において本邦で推奨されている自発呼吸トライアルを施行した後に抜管した方について、呼吸状態や病態などを評価し、抜管結果を含めた予後に影響を与える因子を検討します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる情報：「人工呼吸管理患者における抜管不成功の生理学的リスク因子の検討」において収集された、病歴、集中治療室入室後の呼吸管理、血液検査結果、循環および呼吸状態、薬剤使用、人工呼吸管理の期間、転帰 等  
通常診療における検査結果、薬剤投与を含む診療内容のみを用い、本研究に用いる試料はありません。

### 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信を用いて行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

大阪大学大学院医学系研究科 麻酔集中治療医学教室 藤野裕士

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学講座 小坂順子

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご本人並びに代理の方のお申し出により、研究への利用を拒否することができます。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院 集中治療部

住所：大阪府吹田市山田丘2-15

研究代表者：藤野裕士

連絡先：06-6879-5820（集中治療部 医局）

夜間連絡先：06-6879-6161（集中治療部 病棟）